

1

前計画の成果検証

前計画では、『力強く豊かな水産業を育てる ～もうかる水産業をめざして～』を基本理念として、以下の5つの基本目標を掲げ関係施策を展開してきた。

- Ⅰ 次世代へつなぐ水産資源と漁場づくり
- Ⅱ 収益性の高い、安定した漁業・養殖業の経営体づくり
- Ⅲ 消費者も産地も潤う水産物の供給体制づくり
- Ⅳ 地域を支え、食を支える漁業者づくり
- Ⅴ 安全で快適な活力ある漁村づくり



漁協への水揚げ



ヒラメの放流

その結果、基本目標関連指標9項目中、5項目が達成、4項目が未達成の見込みとなった。

【達成状況概要】

関連指標	基準年	基準値	H25		H26		H27 目標値	達成 見込み
			目標値	実績値	目標値	実績値		
①海面漁業生産量	H20年	30万トン	30	24	30	24	30	×
②資源状態が維持・回復した魚種数	H24年度	14種	17	13	18	14	19	×
③海面養殖業生産額	H20年	247億円	276	279	288	未公表	300	○
④漁業就業者一人あたりの生産額	H20年	587万円	696	644	718	未公表	740	×
⑤水産加工品出荷額	H20年	552億円	579	494	614	未公表	650	×
⑥魚価	H21年	254円/kg	258	264	260	273	262	○
⑦新規就業者数 <small>*5カ年度累計 (150×5=750)</small>	H17-21年度	705人	150	170	150	136	150	○
⑧漁業体験参加者数	H21年度	20千人	23.3	27.4	24.2	27.7	25	○
⑨環境保全活動取組集落数	H22年度	112集落	125	125	125	127	125	○

【達成・未達成の主な要因等】

- 指標① 多獲性魚種のカタクチイワシ、サバなどの漁獲減少やまき網等漁船隻数の減少
- 指標② 公的・自主的な資源管理を推進してきたが、海況等の自然環境が影響
- 指標③ クロマグロの生産量の増大、真珠価格の上昇
- 指標④ 漁業生産量の減少、魚価の伸び悩み
- 指標⑤ 練製品などの高次加工品の伸び悩み、また、原料不足による煮干、素干などの製造量の減少
- 指標⑥ 漁獲の多いアジ、サバ、イワシ等の魚価が高めに推移
- 指標⑦ 国や県の新規就業者支援対策の活用により新規就業者を安定的に確保
- 指標⑧ 農林漁業体験プログラム数の増加に伴い漁業体験参加者数が増加
- 指標⑨ 環境保全への意識の醸成により各地で環境保全活動が活発化